

平成 24 年度

## 第 7 回

# 佐賀県ユニバーサルデザイン大賞

年齢・性別・障害の有無・国籍などの  
違いにかかわらず、みんなが安心して  
暮らすためのユニバーサルデザイン  
(UD) の取組を募集します。



募集期間:平成 24 年 8 月 8 日(水)～

平成 25 年 1 月 15 日(火)

大賞 (知事賞)      1 点【賞状、記念品】

優 秀 賞            3 点【賞状、記念品】

## 1 応募内容

「まちづくり」、「ものづくり」、「ソフトづくり」、「意識づくり」など、あらゆる分野におけるユニバーサルデザイン（UD）の理念に基づいた活動や取組のうち、次の条件をみたすものとします。

- (ア) 佐賀県内の個人・企業・CSO（市民社会組織）・行政等の取組であること。ただし国又は県の行政機関による取組は対象としません。
- (イ) 原則として、現に活動、運営又は提供されている取組とします。

## 2 応募方法

- (ア) 提出するもの  
応募用紙に、必要事項を記入し、取組内容がわかる資料・写真・パンフレット・新聞記事などを添付して提出してください。  
応募用紙は下記佐賀県UDホームページからダウンロードできます。
- (イ) 提出方法  
郵送、直接持ち込み、Eメール等により提出してください。

## 3 選考方法

「佐賀県ユニバーサルデザイン大賞選考委員会」の意見を聴いて、県民運動「佐賀から日本のやさしさを」推進委員会において決定します。

## 4 選考結果

結果は、受賞者にお知らせするとともに、報道機関を通じて公表します。

## 5 表彰

表彰は、受賞者に対して、賞状及び記念品を授与することにより行います。時期は平成25年3月の予定です。

## 6 注意点

- (1) 応募用紙及び関係書類は、一切返却できません。
- (2) 応募用紙及び関係書類に記載の個人情報などは、UD大賞の選考、表彰、普及啓発の目的のために使用し、これ以外の目的には使用しません。
- (3) 応募に係る費用は、すべて応募者の負担とします。
- (4) 受賞者が市町の場合、表彰は賞状の授与のみ行うものとします。
- (5) 表彰内容及び表彰の数は予定であり、変更することがあります。

## 7 その他

受賞された取組については、UDの普及や取組促進のため、県のホームページ、パンフレット、テレビ・新聞・ラジオ等の媒体、県主催のイベントなどを通じて、積極的に広報を行っていきます。

## 8 提出先（お問合せ）

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内 1-1-59  
佐賀県地域福祉課 「UD 大賞応募係」まで  
Tel : 0952-25-7053 Fax : 0952-25-7264  
E-mail : chiikifukushi@pref.saga.lg.jp



さがユニバーサルデザインラボ

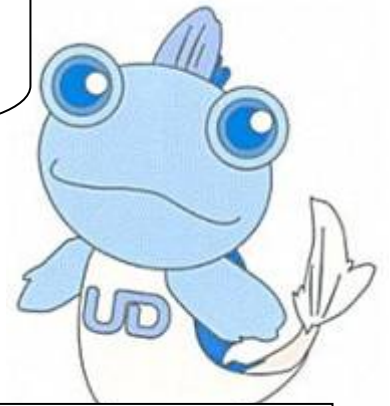
検索 

<http://www.saga-ud.jp/>



どんな取組が応募できるの？  
私たちの活動はUDなのかしら？

たとえば、こんな取組を  
募集しています。



佐賀県UDキャラクター  
ゆうちゃん

## まちづくり 建物、設備、道路、公園、河川、交通、観光地など



高齢者、障害のある人、子供づれなど、みんなが訪れやすい店にするため、段差をなくす・案内板の設置・ショーケースの間隔を広げる・手すりを付けるなどの改修を行った。

地元に住んでいる目の不自由な人や、車いす利用者、妊産婦などに協力してもらい、最初の段階から何度も意見を聞いて、店主だけでは気づきにくい部分を修正した。

商店街の案内板や看板等のサインを、だれもが分かりやすいよう絵文字（ピクトグラム）を使ったり、色弱の人にも配慮した色使いにした。

## ものづくり 住宅、食器・文房具、家具、電化製品、食品、パッケージ、印刷物など

商品のパッケージを見直し、指先の力が弱かったり、あまり自由に動かない人も開けやすいように、切れ込みをいれる、つまみ部分を付ける等の改良を行った。



高齢者をはじめとして、誰もが安心してまちの情報を得られるように、町の広報誌を見直し、見やすい文字の大きさ、配置、色覚障害のある人にも識別できる色使い（カラーユニバーサルデザイン）にも配慮した。

## これまでの受賞者

### H22大賞 嬉野温泉旅館組合

客室のユニバーサルデザイン化の推進

- 競合する旅館同士がまとまって、障害の程度や嗜好に合わせ多様な人にも対応し、選択できるよう、ユニバーサルデザインの客室を整備



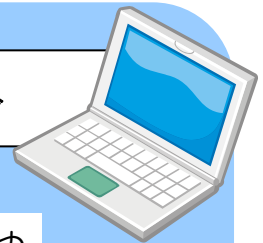
### H23優秀賞 新井康平

視線によるコンピュータ入力および会話支援システム

- モニターの画面に表示された文字や日常よく使う単語を見つめるだけで入力でき、音声で意思伝達ができる会話支援システムを開発（視線入力「めがとーく」）



## ソフトづくり 各種情報提供・接客などのサービスや情報システムなど



「誰もが安心して楽しむ観光地づくり」をテーマに、車いすやベビーカー、あまり長く歩けない高齢者も楽しめる観光ルートや、観光スポットの発掘・紹介を行っている。

高齢者や妊産婦等が安心して商店街での買い物を楽しめるように、300円で買った荷物を家に宅配するサービスを行っている。

## 意識づくり 企業・団体・CSO（市民社会組織）・学校等での普及啓発活動など

学校の授業にUD学習を取り入れて、障害のある人だけでなく、高齢者・けが人・妊産婦など、様々な人がそれぞれどんな点で困っているか、どういう環境であれば、みんなができるだけ自分の力を使いながら、暮らしやすい街になるのかを考えて発表した。



毎年、発行している機関紙で読者を巻き込みながらUDの啓発特集を行っている。